



放射光共同利用実験審査委員会速報

実験企画調整担当 小林 克己 (KEK・PF)
宇佐美徳子 (KEK・PF)

の直線部増強や各ビームラインの高度化についてでした。私自身にとっても日々の仕事とのつながりではその程度先までしか明確な像が描けず、勢い5年10年後についてはPF任せになりがちです。PFスタッフにとっては10年先を考えることも日常の仕事の範疇ですから、スタッフにしてみれば「ユーザーは将来を考えない」と見えてきてもおかしくありません。これではすれ違いが生じるのは当然です。そのギャップを埋めるためにはやはり数多く顔を合わせることは重要だと思います。本来はそのための会合を持ってユーザーが集まるべきところですが、実際にはそれだけではユーザーはなかなか集まらないので、物理学会、応用物理学会、化学会等の他の集まりを一層積極的に利用すべきかと感じました。

最後に触れたいのが法人化の問題です。施設報告の中でも触れていたのですが、法人化後は「研究センター」と「共同利用部門」を分けることを検討しているとのことでした。研究センターのような拠点を作ることは私は大賛成ですが、他方、前号のPFニュースではビームライン数を減らしてマンパワーの分散を避ける方針も示されており、パーマナントポストを増やせない状況で研究センターに人員を配置するのですから、ビームライン担当は一層少なくなるかも知れません。解決策のひとつとしてユーザーグループによるビームライン運営も挙げられていますが、これらはすべてユーザーの共同利用形態に関わってくるものですから、PFとユーザーの間で早急かつ十分な議論が必要だと思います。今回の拡大運営委員会ではハードウェアそのものの将来計画に多く時間を費やして法人化は隠れてしまいましたが、実際には目前です。PFシンポジウム等で一層の議論が肝要かと思えます。

以上、(初)参加した感想を書かせて頂きましたが、出席した方々やスタッフの方々にはまた違った考えもお持ちのことと思います。また、私の間違いや勘違いもあるかと思えます。ユーザーとスタッフの間を円滑に結ぶのが懇談会(特に利用幹事)ですので、ご意見等ありましたらご連絡ください。懇談会の連絡先はPFホームページにリンクされているPF懇談会のホームページ内にあります。

2003年1月29日、30日に放射光共同利用実験審査委員会が開かれました。審議の結果、以下のような実験課題が採択されました。

1. G型、P型の審査結果

昨年11月1日に締め切られた平成15年度前期のG型、P型の共同利用実験課題申請にはG型145件、P型4件の応募があり、G型139件、P型4件(G型から移行した課題も含む)計143件の課題が採択されました。このうち、条件付きとなったものは6件でした。採択課題名および申請課題に対する評価の分布は別表を参考にして下さい。

不採択になった理由あるいは評点が低くなった理由として、以下の様な点がありました。

- 申請書の記述が十分でない、あるいは論理的に書かれていない。審査は申請書に書かれた内容によってのみ行いますので、審査員に理解して欲しいことはきちんと書いて下さい。
- 申請書に、目標が定量的に、あるいは、そこに至る方策が具体的に書かれていない。
- 申請者のグループからこれまでに似た課題が実施されたにも関わらず、その成果が申請書に述べられていない。

2. U型課題の審査報告

前回のPAC以降、U型課題が2件申請され、採択されています。

2002U-002

「High resolution structures of trichomaglin, the complexes of methanol dehydrogenase with primary alcohols and of α -amylase with tripeptides」

実験責任者: Zongxiang Xia

(Shanghai Institute of Organic Chemistry)

2002U-003

「X線分光学的手法によるSrTiO₃の光誘起相転移研究」

実験責任者: 岩住 俊明(物構研)

3. S型課題

以下の3課題が採択になりました。

2003S1-001

「強相関電子系物質の新物質探索と物性発現機構解明のためのBL建設」 実験責任者: 澤 博(物構研)

2003S2-001

「表面X線回折法による半導体表面構造の解析と界面構造の制御」 実験責任者：秋本 晃一（名大院、工）

2003S2-002

「タンパク 3000 プロジェクト タンパク質の個別的解析プログラム」 実験責任者：若槻 壮市（物構研）

なお、2003S1-001 の有効期限は3年で、条件付き採択（2003年2月時点）です。

4. 生命科学Iの分科会では今回からタンパク試料に関して以下の様な運用指針で申請・審査されました。

(1) 結晶の準備状況

申請書を提出する段階で放射光X線結晶構造解析に相応しい結晶が既に得られていない場合でも、結晶化に向けた大量発現や精製系の確立がある程度進んでいる場合は、採択後2年間にX線構造解析に使用できる結晶が得られることを期待してこのような申請も可能とする。

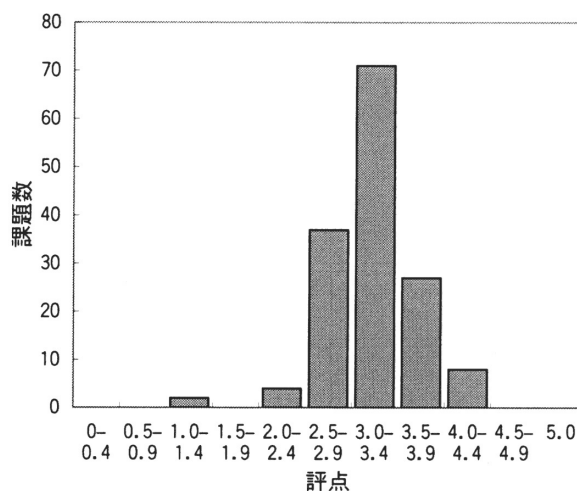
(2) 複数の関連したタンパク質を含む申請課題

実験課題が2年間有効であることから、複数種のタンパク質を一実験課題に含めた課題申請を可能とする。この場合に実験課題名は例えば、「PCB代謝系酵素の構造解析」のように、そこで対象とするタンパク質群やそれらの複合体

の機能をなるべく具体的に示す必要がある。その際、申請段階で結晶が得られていない場合でも、発現、精製等がある程度進んでいるものも含めることができる。ただし、現段階では、「シグナル伝達」、「蛋白質輸送」、「転写と翻訳」のような極めて包括的な課題申請はG型課題ではなくS2型課題で申請すべきものとする。

G型課題と包括的な課題との違いは生物学的に関連あるタンパク質の具体名が明記されるか否かにあるとする。

2003年度前期PAC 評点分布



第28回物質構造科学研究所運営協議員会議事次第

日時：平成14年9月20日（金）13:30～（管理棟大会議室）

議事：

1. 報告
 - ① 所長報告、② 各施設等報告、③ その他
2. 協議
 - ① 平成14年度後期中間子共同利用実験課題審査結果について
 - ② ミュオン実験施設委員会委員について
 - ③ 次期副所長及び研究主幹候補者の選考手続きについて
 - ④ 大強度陽子加速器施設完成後の施設運営体制について
 - ⑤ 教官人事について（物質科学第一研究系 教授又は助教授1名）
 - ⑥ 教官人事について（物質科学第二研究系 助教授1名）
 - ⑦ その他

第29回物質構造科学研究所運営協議員会議事次第

日時：平成14年11月8日（月）13:30～（管理棟大会議室）

議事：

1. 報告
 - ① 所長報告、② 各施設等報告、③ その他
2. 協議
 - ① 大強度陽子加速器施設完成後の施設の運営体制について
 - ② 次期研究主幹の選考手続きについて
 - ③ 次期企画調整官（副所長）の選考について
 - ④ その他

第30回物質構造科学研究所運営協議員会議事次第

日時：平成14年12月24日（火）13:30～（管理棟大会議室）

議事：

1. 報告
 - ① 所長報告、② 各施設等報告、③ その他
2. 協議
 - ① 教官公募（案）について
（物質科学第二研究系 助教授または助手 1名）
 - ② 教官公募（案）について
（大強度陽子加速器計画推進部 助教授 1名）
 - ③ 次期研究主幹の選考について
 - ④ 大強度陽子加速器施設完成後の施設の運営体制について
 - ⑤ その他

第31回物質構造科学研究所運営協議員会議事次第

日時：平成15年1月23日（木）13:30～（管理棟大会議室）

議事：

1. 報告
 - ① 所長報告、② 各施設等報告、③ その他
2. 協議
 - ① 平成15年度機構内予算配分方針（案）について
 - ② 平成15年度上期中性子共同利用実験課題審査結果について
 - ③ 教官公募（案）について（物質科学第一研究系 助手 1名）
 - ④ 名誉教授の選考について
 - ⑤ その他

物構研セミナー

題目：SrTiO₃における巨大光伝導と光誘起絶縁体金属相転移
 講師：石川忠彦氏（東京工業大学大学院物質科学専攻） 日時：2002年11月11日（月）14:30～15:30

題目：集積型金属錯体における新規光磁性現象の観測
 講師：大越慎一、橋本和仁氏（東大先端科学技術研究センター） 日時：2003年1月28日（火）10:30～12:00

放射光セミナー

題目：ESRFの磁気散乱グループ（ID20）の現状
 講師：Dr. Luigi PAOLASINI（ESRF, France） 日時：2002年11月8日（金）14:00～15:00

題目：その場光電子分光と光電子顕微鏡による磁性材料の研究
 講師：小野寛太氏（物構研 物質科学第一研究系） 日時：2002年11月13日（水）15:30～16:30

題目：ERLとFELのコヒーレンス—有用な「コヒーレンス」と無用な「コヒーレンス」の区別と使い分け—
 講師：宮原恒昱氏（東京都立大学大学院理学研究科） 日時：2002年11月22日（金）16:00～18:00

題目：Some Aspects of the SR Investigations for Industry, Biology and Medicine in the Kurchatov Synchrotron
 講師：Vladimir .G. Stankevich 教授（ロシア国クリャトフ研究所放射光施設長）
 日時：2002年12月3日（火）13:30～14:30

題目：不安定状態の時分割構造解析の現状
 講師：大橋裕二氏（東京工業大学理工学研究科） 日時：2002年12月4日（水）16:00～17:00

題目：超高速 X 線非線形分光の理論
 講師：田中 智氏（大阪府立大学総合科学部） 日時：2002年12月13日（金）15:00～16:00

題目：Ultra-fast photo-induced phase transformation in TTF-CA by time-resolved X-ray diffraction
 講師：Doctress Marie-Helene Lemeec-Cailleau 日時：2002年12月16日（月）14:00～16:00

題目：プラズマ X 線レーザーによる散乱実験 —スペckル、パラメトリック散乱など—
 講師：並河一道氏（東京学芸大学教育学部） 日時：2002年12月19日（木）14:00～15:30

題目：シアリダーゼ異常とシグナリング障害
 講師：宮城妙子氏（宮城県がんセンター、生化学部長） 日時：2003年2月5日（水）14:00～15:00

最新の情報はホームページ (<http://pfwww.kek.jp/pf-seminar/>) をご覧下さい。